日本貨物航空と Atlas Air Worldwide 、戦略的パートナーシップ 10 周年

日本貨物航空株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：本間 啓之、以下「NCA」）と Atlas Air Worldwide（本社：米国ニューヨーク州、最高経営責任者：Michael Steen、以下「Atlas」）は、戦略的パートナーシップ締結 10 周年を迎えました。今後とも、両社は更なる協力関係の強化を推進してまいります。



本戦略的パートナーシップは、2016 年 10 月にボーイング 747-400 型貨物機 1 機の契約から始まり、2019 年には対象機材を計 5 機へと拡大いたしました。NCA が築き上げた強固な貨物サービスと、Atlas のグローバルネットワーク、ならびに両社が有する航空貨物輸送に関する高度な専門知識を融合させることで、成田国際空港をハブとする NCA 事業の拡張をはじめ、アジアと北米を結ぶ路線を支えてまいりました。
この 10 年間にわたる緊密な協調関係を通じ、両社は複雑な国際貨物便のオペレーションに不可欠な柔軟性を維持し、変化する市場ニーズへ的確且つ迅速に対応し続けます。

両社コメント
■ 日本貨物航空株式会社 代表取締役社長 本間 啓之
「Atlas とのパートナーシップが 10 周年という大きな節目を迎えたことを、心より嬉しく思います。
2016 年にスタートした連携が拡大し、Atlas は当社のグローバルネットワークを支える極めて重要な役割を果たしており、強固な協力関係を築いています。今後も結束を一層深め、世界中のお客様へより高品質で安定した航空輸送サービスの提供に邁進してまいります。」

■ Atlas Air Worldwide 最高経営責任者 Michael Steen

「NCA との 10 年にわたるパートナーシップは、卓越したサービスと安全運航への共通のコミットメントの賜物です。1 機の航空機から始まった協業は、両社チームの専門知識と献身的な努力に支えられ、強力な戦略的関係へと進化しました。私たちは NCA から寄せられた信頼を深く受け止めており、今後数年間にわたり NCA のビジネスをサポートする新たな機会を見出していくことを楽しみにしています。」

NCA および Atlas は、協業の新たな 10 年へと歩みを進めるにあたり、今後も強固な協力体制のもと、変化しつづけるグローバルな航空貨物市場で、相互の強みを活かした持続可能で信頼性の高い航空貨物輸送ネットワークの構築に努めてまいります。

日本貨物航空株式会社について

日本貨物航空株式会社（NCA）は、1978 年に設立された日本唯一の国際貨物専用航空会社です。2025 年 8 月に ANA ホールディングス株式会社の完全子会社となり、成田国際空港を中核ハブ拠点として、アジア、北米、欧州の主要都市を結ぶ自社ネットワークに加え、株式会社 ANA Cargo との緊密な連携を通じて広範な路線網を展開しています。大型貨物専用機ボーイング 747-8F フリートを運航し、半導体や精密機器、大型特殊貨物など、高度な専門技術が求められる高付加価値輸送において強みを持ち、豊富な実績を有しています。

公式ウェブサイト：www.nca.aero

公式 SNS：Instagram(nipponcargo_official) / X（@nipponcargo）

Atlas Air Worldwide について

Atlas Air Worldwide（AAWW）は、貨物機の運航受託（ACMI/CMI オペレーション受託）において世界をリードする航空物流企業です。主要な事業子会社であるアトラス航空（Atlas Air, Inc.）をはじめ、タイタン（Titan Aviation）の航空機ドライリース事業関連会社、ポーラーエアカーゴ（Polar Air Cargo Worldwide, Inc.）などを傘下に有しています。約 5,000 名の従業員を擁し、世界 90 か国以上、300 以上の就航地を通じて、グローバルサプライチェーンにわたる多様な顧客にサービスを提供しています。グループ全体で世界最大のボーイング 747 型貨物機フリートを運航するほか、ボーイング 747、777、767、およびエアバス A350F（2029 年導入予定）など、業界で最も幅広い貨物専用機のラインナップを提供しています。

公式ウェブサイト：www.atlasairworldwide.com

公式 SNS：LinkedIn / X（@AtlasAirWW）

お問い合わせ先： 日本貨物航空（株）総務部（広報担当） 0476-30-3946